



学 校 だ よ り 特別号



京都市立春日野小学校 校長 當麻 章英

令和7年度 後期学校評価アンケートについてお知らせいたします

寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。平素は、春日野小学校学校教育に多大なご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、前期と同様に学校教育目標「自分ですすむ春日野っ子」に向けて、どこまで実現しているかをアンケートで問い、今後の学校教育をさらによりよく進めていけるように考えています。以下に、アンケートの結果と分析した内容をお知らせします。

児童・教職員アンケート結果

プラス・・・「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」 マイナス・・・「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」

(単位 %)

	質問項目		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	プラス	マイナス
すてきな心	1 あなたは、今の自分が好きですか	児童	36	42	18	4	78	22
		教職員	31	63	6	0	94	6
	2 あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか	児童	25	35	31	9	60	40
		教職員	38	31	31	0	69	31
	3 自分にはよいところがあると思いますか	児童	44	39	15	2	83	17
		教職員	38	56	6	0	84	6
	4 自分はみんなの役に立っている	児童	18	44	31	7	62	38
		教職員	19	56	25	0	75	25
	5 自分は人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	児童	38	50	9	3	88	12
		教職員	19	56	25	0	85	15
	6 自分には、自分のことをわかってくれる家族や友達が いる	児童	65	28	6	1	93	7
		教職員	56	44	0	0	100	0
がんばる学習	7 自分が正しいと思ったことは、はっきりといえる	児童	27	46	22	5	73	27
		教職員	13	56	31	0	69	31
	8 自分には得意なことがある	児童	70	21	7	2	91	9
		教職員	24	63	13	0	87	13
	9 自分らしさを大切にしたい	児童	58	34	6	2	92	8
		教職員	50	44	6	0	94	6
	10 授業はよくわかる	児童	43	44	9	4	87	13
		教職員	6	88	6	0	94	6
	11 授業中、進んで自分の考えを伝えている	児童	27	35	28	10	62	38
		教職員	19	50	31	0	69	31
	12 学習問題(めあて)に向かって学習を進めている	児童	42	43	11	4	85	15
		教職員	31	69	0	0	100	0

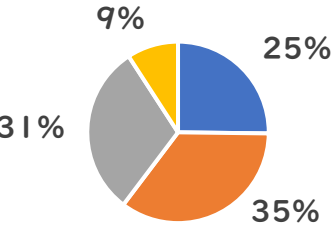
	13 学習問題（めあて）について、調べたり考えたりすることが好きだ	児童	39	35	21	5	74	26
		教職員	25	69	6	0	94	6
	14 学習問題（めあて）について、友達と話し合うことが好きだ	児童	41	36	17	6	77	23
		教職員	25	56	19	0	81	19
	15 学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	児童	33	34	23	10	67	33
		教職員	19	31	38	12	50	50
のびのびいきいき元気な体	16 学校生活が楽しい	児童	60	31	6	3	91	9
		教職員	38	62	0	0	100	0
	17 きまりやマナーを守って生活している	児童	36	50	11	3	86	14
		教職員	25	50	25	0	75	25
	18 困ったことがあれば、先生や友達に相談している	児童	43	35	15	7	78	22
		教職員	13	81	6	0	94	6
	19 進んで運動したり、休み時間は運動場で遊んだりしている	児童	53	20	18	9	73	27
		教職員	38	50	12	0	88	12
	20 早寝早起きし、朝ご飯をしっかり食べている	児童	45	32	15	8	77	23
		教職員	44	38	18	0	82	18
	21 食後、寝る前に歯磨きをしている	児童	75	20	3	2	95	5
		教職員	50	50	0	0	100	0
	22 地域の行事やスポーツに参加している	児童	32	24	19	25	56	44
		教職員	19	50	25	6	69	31

前期の課題のあった質問事項と比べて

【すてきな心】設問②「あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか」について

だめだと思うということは、自己肯定感が低いとも捉えることができます。前回に比べて55%からの微増の60パーセントの子がそう感じていることになります。しかし、克服しようとする自分の課題に対してしっかりと向き合う現れと捉えることもできます。ですので、自ら課題を見つけ、克服し、自己肯定が高まったことをそれぞれ実感できるような教育活動を次年度もすすめていきたいと考えています。

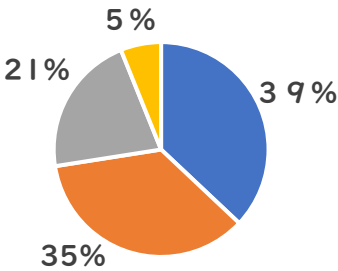
2 あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか



【がんばる学習】設問⑬「学習問題（めあて）について、調べたり考えたりすることが好きだ

前期は81%の児童がプラスと回答していましたが、後期は74%とポイントを下げる結果となりました。学習の最初には学習問題（めあて）をたて、課題解決のために自ら調べ、考える学習を進めましたが、教職員とのポイントの差にも取り組みの成果が分かる結果となりました。今回の結果から、学校全体を通してこの取り組みを身に着けるには、まだまだ不十分だったことが分かりました。来年度も引き続き、問題解決的な学習を通して、自ら調べ、考える学習をすすめていきたいと考えています。

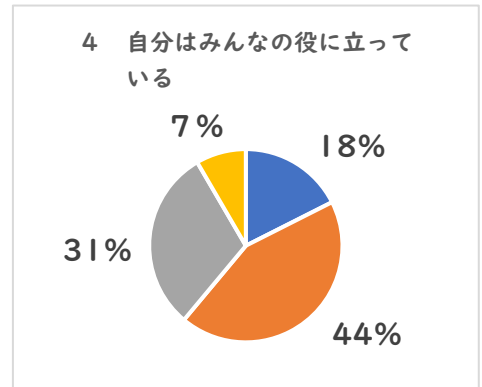
13 学習問題（めあて）について、調べたり考えたりすることが好きだ



後期のアンケートから課題があると考ええる取組

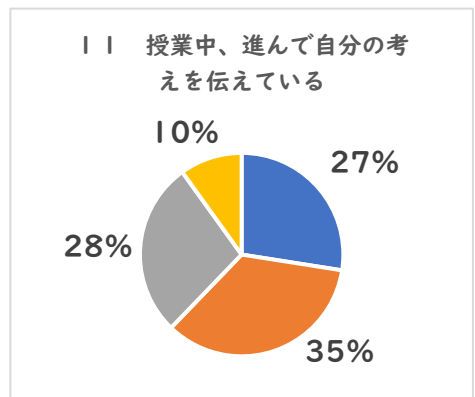
【すてきな心】設問④「自分はみんなの役に立っている」について

プラスと答えている児童は62%で、前期の67%に比べて僅かに減少し、まだまだ低い回答に留まっています。この結果は、子どもたちが「役に立つ」という言葉を「特別な活躍」や「目立つ行動」に結びつけて考えてしまいがちであることや、自己肯定感が育つ途中の年齢的な特徴も影響していると考えられます。「日常の小さな頑張りを認め合う言葉かけ」「友だち同士でよいところを伝え合う活動」「下学年との交流を通じた頼られる経験」などを充実させる必要があります。ご家庭でも、お子様が日常生活で見せている努力や優しさに、ぜひ温かい言葉をかけていただければ幸いです。来年度も学校・家庭が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。



【がんばる学習】設問⑪「授業中、進んで自分の考えを伝えている」について

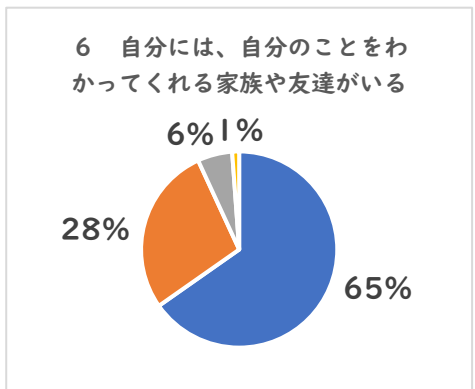
前期はプラスの意見が72%でしたが、後期は62%に減少しました。自分の考えを進んで伝えるにいと答えた児童が増えたことになります。子どもたちが安心して意見を伝え合う学習環境づくりや、伝える必要性を持たせられなかったなどが考えられます。教職員のプラスも低いことから同じことが言えます。授業では、友だちと話し合う活動や、自分の考えを伝えやすくする学習の流れをより充実させるなど、この結果を真摯に受けとめ、次年度、授業改善などを図り、児童が自ら考えたことを進んで発言したいと考えられる教育活動を、進められるよう検討していきたいと考えています。



後期のアンケートから誇れる点

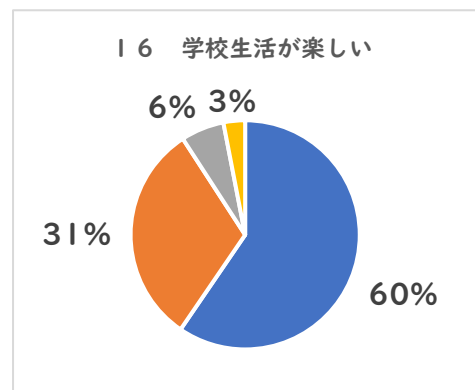
【すてきな心】設問⑥「自分には、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる」について

前期に引き続きプラスと答えている児童が93%と高い結果になりました。子どもたちが身近な人とのつながりをしっかり感じていることは、日頃の家庭での温かな関わりのたまものだと感じています。日常の中で“自分の味方がいる”と安心できていることは、学びや生活の大きな支えとなっています。しかし、マイナスに捉えている児童も少なからずいます。どの子もプラスに答えられるように、ご家庭においても、子ども達を認め、励ますお声かけを今後もよろしくお願いいたします。



【のびのびいきいき元気な体】設問⑯「学校生活が楽しい」について

前期に引き続きプラスと答えている児童が多い結果となりました。学校では、友だちとのつながりづくりや学級の居心地のよさを大切に、子どもたち一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。このような前向きな結果は、日頃からのご家庭での支えがあってこそだと実感しております。これからも、子どもたちが意欲をもって学校生活を送れるよう、学校と家庭が連携して支えていければと思います。しかし、マイナスの回答をしている児童もいます。学校が楽しくないと捉えている児童の原因をさぐり、楽しいと思える教育活動が進められるよう、改善していきたいと考えています。



保護者アンケート結果

プラス・・・「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」 マイナス・・・「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」

(単位 %)

	質問項目	そう思う		どちらかといえば そう思う		どちらかといえばそう 思わない		そう思わない		プラス		マイナス	
		重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現
すてきな心	1 子どもは、今の自分が好きだと思っている	64	35	34	58	1	6	1	1	98	93	2	7
	2 子どもは、今の自分にだめな所があると思っている	17	15	54	54	27	27	2	4	71	69	29	31
	3 子どもは自分で自分のよいところを知っている	59	34	36	51	5	15	0	0	95	85	5	15
	4 子どもは、周りの人に役に立っていると思っている	40	26	51	56	8	16	1	2	91	82	9	18
	5 子どもは人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	61	25	34	56	3	17	2	2	95	81	5	19
	6 子どもには、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる	73	52	25	45	1	2	1	1	98	97	2	3
	7 子どもは正しいと思ったことを、はっきりと言える	50	16	45	61	3	21	2	2	95	77	5	23
	8 子どもにはだれにも負けないもの(こと)がある	41	26	52	59	7	14	0	1	93	85	7	15
	9 子どもは、自分を大切にしたいと思っている	73	41	24	51	3	8	0	0	97	92	3	8
がんばる学習	10 子どもは、学習している内容を理解している	48	19	46	61	6	19	0	1	94	80	6	20
	11 子どもは、自分から進んで学習をしている	39	18	44	34	14	40	3	8	83	52	17	48
	12 子どもは、めあてをもって学習に取り組んでいる	41	11	42	41	14	39	3	9	83	52	17	48
	13 子どもはわからないところを先生に聞くことができる	56	20	35	54	8	24	1	2	91	74	9	26
	14 子どもは家で読書をしている	34	14	39	24	16	36	13	26	73	38	27	62
	15 子どもは学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	36	21	46	34	14	28	4	17	82	55	18	45
のびのびいきいき元気な体	16 子どもは楽しく学校生活を送っている	69	49	28	45	1	4	2	2	97	94	3	6
	17 子どもはきまりやマナーを守って生活している	62	38	34	53	3	7	1	2	96	91	4	9
	18 子どもは困ったことがあれば、先生や友達に相談している	58	20	38	60	3	17	1	3	96	80	4	20
	19 子どもは進んで運動をしている	54	35	41	40	5	20	0	5	95	75	5	25
	20 子どもは早寝早起きし、朝ご飯をしっかり食べている	72	42	25	43	1	13	2	2	97	85	3	15
	21 子どもは食後、寝る前に歯磨きをしている	82	72	15	21	2	6	1	1	97	93	3	7
	22 子どもは地域の行事やスポーツによく参加している	26	16	46	26	20	40	8	18	72	42	28	58

【すてきな心】

この領域の結果から、重要度をみると前期と同様に肯定的な回答が多いです。重要度は、保護者の皆様が子どもにこうなってほしいという願いであると考えています。しかし、実現度をみると重要度と隔たりがある設問がいくつかある結果となりました。保護者の思いを大切にしたい実現度と重要度の差が縮まっていくよう、学校教育を進めていきたいと考えています。

その中でも、重要度と実現度の隔たりが一番大きかったのは「7 子どもは正しいと思ったことを、はっきりと言える」です。

小学生の時期は、友だちとの関係を大切にしたいという思いから、自分の意見を表に出すことに慎重になる姿がみられやすい発達段階でもあります。学校では、ペアで考えを伝え合う活動や、意見を言語化する学習を取り入れるなど、子どもたちが自信をもって思いを表現できるよう支援しています。また、正しいと思ったことは自信をもって言えるように、正しい行

動や発言があった際には見逃さず、すかさず褒めて、自尊心も高めていきたいと考えています。ご家庭でも「どう思う？」「理由は？」といった声かけが、言葉にする力を育てる助けになります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

【がんばる学習】

この領域についても重要度と実現度の隔たりがある結果となりました。特に「14 子どもは家で読書をしている」においては、実現度が前期と同様にマイナスの方が多く結果となりました。近年は、生活の多忙さやデジタル機器の利用などから、全国的にも家庭での読書時間が少なくなる傾向があります。必ずしも読書が苦手というわけではなく、読書のきっかけがつかみにくい子が増えているとも言われています。学校では、朝読書や読み聞かせ、図書室での本紹介などを通して、子どもたちが本と出会う機会を増やしていきます。ご家庭でも、1日5分でもよいので「好きなものを読む時間」をつくっていただけると、読書習慣の第一歩につながります。

また「11 子どもは自分から進んで学習をしている」「12 子どもは、めあてをもって学習に取り組んでいる」という項目で実現度が半数近くマイナスという結果となりました。近年、子どもたちは学習内容が多様化し、興味や集中が続きにくい場面も増えています。また、めあてを意識して学習する力は、学習経験を重ねる中で徐々に育っていくものです。学校では、授業の最初に学習の見通しを共有したり、ペアでの話し合いを取り入れたりして、一人ひとりが「今日の学び」への意識をもてるよう支援しています。ご家庭でも、「今日はどんなことをがんばった？」といった短い声かけが、主体的な学習につながります。引き続き、学校と家庭で子どもたちを支えていければと思います。

【のびのびいきいき元気な体】

この領域において「16 子どもは楽しく学校生活を送っている」という項目に、94%の肯定的な回答をいただきました。多くの子どもたちが、日々の学校生活を前向きに過ごしていることを、大変うれしく思います。一方で、6%の方からは『楽しく過ごせていない』とのご意見もありました。学校生活の感じ方は、子ども一人ひとりによって異なります。友だち関係や生活リズム、学級の雰囲気など、背景もさまざまです。学校では、子どもたちの表情や小さな変化に気づけるよう、担任をはじめとする全教職員で連携し、安心して過ごせる環境づくりを進めています。また、困りごとがあった場合には、早めに相談していただけるよう、相談体制の充実にも取り組んでいます。すべての子どもたちが「学校が楽しい」と感じられるよう、学校と家庭で力を合わせて支えていきたいと考えています。

次に実現度でマイナスの高かった「19 子どもは進んで運動をしている」については、子どもたちは、天候や生活リズム、習い事などの影響を受けやすく、運動の“きっかけ”がつかみにくい場合があることも背景として考えられます。学校では、休み時間たくさんの子が運動場で遊んでいますが、同じ遊びや決まった子に限られる場合があります。短時間で楽しめる運動遊びの場づくり(なわとび・的当て・リズム運動等)や、体育の中でのミニゲーム化、挑戦をほめる仕組みを取り入れ、誰でも始めやすい運動の機会を増やしていきたいと考えています。

令和7年度の後期の学校評価アンケートの結果を真摯に受け、学校教育目標、目指す子ども像の実現に向けて、どこまで達成できているのか、課題が多くみられるのはどの項目かをしっかり把握し、さらに実現に近づいていくよう来年度以降も学校教育を進めていきたいと思ひます。

今後とも春日野小学校の学校教育へのご理解とご協力何卒よろしくお願い申し上げます。